



社会福祉法人
肝付町社会福祉協議会
肝付町ボランティアセンター

望 縁 郷

vol.38
2020

編集発行：肝付町社会福祉協議会 【やぶさめの里総合公園福祉会館内】
TEL：0994-68-8188 FAX：0994-68-8187
<http://www5.synapse.ne.jp/kt-syakyou/>

町民のみなさん、「安心」をありがとう！



内之浦小学校



宮富小学校



高山小学校



国見小学校



波野小学校

肝付町社会福祉協議会では、「県下一元気で安心・安全な町づくり」の一環として、『赤い羽根共同募金』を財源として町内の新一年生に毎年防犯ブザーを贈っています。子どもは「社会の宝」「地域の宝」、そのかけがえのない笑顔を地域ぐるみで温かく見守りましょう。

◆記事内容◆

- 令和2年度肝付町社会福祉協議会事業計画について・・・P2
- 養護老人ホーム国見園移管後の活動の様子・・・P3
- 日本赤十字社肝付町分区より・・・P4
- 肝付町共同募金委員会からのお知らせ・・・P5
- 肝付町高齢者元気度アップ・ポイント事業のご案内・・・P6
- 令和2年度アドバイザー名簿・・・P7
- 令和2年度ボランティア活動保険・社協会員募集・・・P8

望縁郷(ぼうえんきょう)の願い！

望んでいます。地域の温かいつながり(縁)で、誰もが安心して暮らせる肝付町(郷)であることを！

ボランティアや福祉活動を、気軽に楽しく(エンジョイ)、今日(キョウ)から始めて頂きたいと願っています！

この「望縁郷」が故郷肝付町と町外の肝付町出身の方との望遠鏡(ぼうえんきょう)になれば願っています！

この情報誌は、共同募金の助成を受けて発行されています。

令和2年度肝付町社会福祉協議会事業計画

【基本方針】

急速な少子高齢化や人口減少の進行、単身世帯の増加などによる人口構造の変化や、厳しい社会経済情勢を背景に、住民一人一人の自立を支え、安心して生活ができる社会基盤を再構築すべく社会保障制度の見直しも進められています。

地域社会においては、住民間のつながりの希薄化による社会的な問題、また経済環境の変化による生活困窮者の増加といった課題が深刻化しています。地域福祉推進の中核機関であるわれわれ社協関係者には、変化する地域の福祉ニーズを迅速に捉えながら、これまで積み重ねてきた取り組みを活かし、地域住民や行政・関係機関等と連携・協働しながら、あらゆる福祉課題に対応していくことが期待されています。

そのような中、「誰もが地域の中でかわりを持ちながら、その人らしく県下一元気で安心して暮らせる町づくり」を目指し、多様化する生活・福祉課題に的確且つ柔軟に対応するため、重点目標を次のとおり定め各事業に取り組みます。

【重点目標】

- (1) 公民館や振興会など既存の小地域活動を活かし、見守り・声かけや生活支援、又各種福祉教育講座など、福祉活動領域としての融合・協働体制を推進しながら、振興会など、さらに身近な単位での住民参加型活動支援に取り組みます。
- (2) 生活環境上の理由や経済的理由により、自宅での生活が困難な高齢者を養護するため、肝付町からの経営移管により養護老人ホーム「国見園」を運営し、入居者の意思及び人格を尊重した、その人らしく生きがいのある生活が送れるよう施設サービスの充実を図ります。
- (3) 地域包括ケアの理念に基づき、介護事業のみでなく、地域福祉などの各事業や医療・保健領域等とも連携し、社会資源の発掘・開発を視野に入れながら、包括的生活支援サービスの充実を図ることを目的に取り組みます。

●事業計画（概要掲載）

①会務の運営

理事会、評議員会、評議員会選任・解任委員会、監事会

○実施事業

②福祉イベント事業

社会福祉大会、広報イベント

③地域福祉推進事業

サロン事業、緊急連絡カード整備事業、安心バトン配布事業、福祉世帯表整備事業、高齢者くらし安心ネットワーク事業、安心ふくし巡回事業、地域福祉サポート事業、地域福祉推進事業、介護予防支援者育成事業、地域ネットワーク構築事業、シニア元気生き生き活動体制づくり支援事業、地域福祉活動計画への取り組み、寝具類洗濯消毒乾燥サービス事業

④ボランティアセンター事業

ボランティア体験事業、社会人福祉活動体験事業、テーマ別研修事業、出前講座、疑似体験事業、在宅福祉実習、施設福祉実習、災害炊き出し訓練事業、人材育成事業、教職員実習事業、学生等基礎・現場実習

⑤元気度アップ・個人ポイント事業

⑥心配ごと相談事業

⑦権利擁護事業

一般相談、特別相談、専門相談
福祉サービス利用支援事業、法人成年後見制度、かこしまおもいやりネットワーク事業

⑧小口資金貸付事業

⑨生活福祉資金貸付事業

⑩生活安心支援事業

⑪在宅介護支援センター運営事業

⑫地域包括支援センター設置・運営事業

⑬相談・苦情処理制度

⑭共同募金事業

⑮日本赤十字社事業

⑯応援救護事業

⑰財源確保事業

会員募集、ふくしバザー、義歯回収事業、他

⑱介護保険等関係事業

経営理念の確立と業務の効率化、従事者教育、指定居宅介護支援事業、訪問介護事業、訪問入浴介護事業、障害者総合支援法に基づく居宅介護事業、通所介護事業、療養支援事業、介護予防・日常生活支援総合事業（通所型サービス）、介護予防事業の受託実施（通所）

⑲施設サービス事業の運営

老人福祉施設の運営

養護老人ホーム「国見園」は社協が運営します！

養護老人ホーム国見園は、肝付町からの移管を受け令和2年4月1日より「肝付町社会福祉協議会」が施設の運営管理を行うことになりました。入居された方々が、末永く安心して暮らして頂くために、50有余年の歴史を大切に、複雑多様化する社会の中で、なくてはならない「養護老人ホーム」の意義と社会福祉協議会の地域福祉の理念を織り交ぜながら、併設のデイサービスセンターと一体的な施設運営を行っていきたいと考えております。町民の皆様はじめ、ご家族関係者、関係機関・団体様の変わらぬご支援をよろしくお願い致します。



◆養護老人ホーム国見園

〒893-1207 肝付町新富 4585-2

TEL：0994-65-2302 FAX：0994-65-1560

◆デイサービスセンター国見園

TEL：0994-65-1550 FAX：0994-65-1560

※スタッフ募集 については、直接お問い合わせください。(中村)

設置から五十六年、町から社会福祉協議会へ移管

肝付町養護老人ホーム国見園は

「社会福祉法人肝付町社会福祉協議会 養護老人ホーム国見園」へ

肝付町養護老人ホーム国見園は、令和二年四月一日、肝付町から社会福祉法人肝付町社会福祉協議会に移管されました。

肝付町新富にある「国見園」は、定員五〇名で昭和三十九年四月二〇日に高山養護老人ホームとして開園、その後、緊急時のショートステイや平成四年八月からは、在宅福祉サービスとして「デイサービスセンター」を併設して地域の高齢者福祉を支えてきました。

平成十七年七月一日、市町村合併で「肝付町養護老人ホーム国見園」と改称。時代の流れと多様化する福祉ニーズに対応するため、民間の手法を導入することを目的に、運営事業者を公募し、平成三〇年九月七日、肝付町社会福祉協議会が移管法人に決定されました。

平成三一年四月からは「合同養護」として、事務・事業引き継ぎを始め、完了の日を迎えた令和二年三月三十一日に、肝付町福祉会館で移管式が開催され、永野和行肝付町長と松元一

昭社会福祉協議会会長が引継書に署名し、移管が正式に完了しました。

永野肝付町長は「設置当時は厳しい経済状況でしたが、設置後五十六年経過し介護の必要な人も多くなった状況もあり、社会福祉協議会に引き受けていただくことになりました」と挨拶し、社会福祉協議会の松元一昭会長は「移管を受け、重責を感じております。国見園の名を汚さないよう、今まで以上のサービスができるよう一丸となって頑張つてまいります」と述べました。

社会福祉協議会が養護老人ホームを経営するのは全国的にも珍しく、蓄積された地域福祉活動のノウハウを生かしていくことに注目が集まっています。

中村浩太施設長は、社会福祉協議会の各種サービスとの連携や地域福祉を支えていただいているボランティアの方々や各種団体・事業者様のご協力を頂きながら、さらに充実した施設運営を目指したいと決意をあらたにしました。

養護老人ホーム国見園移管式



【養護老人ホーム入居者とデイサービス利用者との合同レクリエーション】

日本赤十字社肝付町分区 令和元年度報告

日本赤十字社会員増強運動月間（5月）へのご協力、ありがとうございました。

日本赤十字社は、会員から寄せられた会費・寄付金を財源に、支援物資の備蓄、救護班の訓練・組織化をおこない、災害等が起こった際に備えています。肝付町分区でも台風・水害などの被災者に救援物資を配布し、訓練実演などの啓発活動による防災意識の向上に務めています。

災害支援物資 肝付町内令和元年度配布実績

被災件数 1件

- ・毛布 0枚 ・日用品 1セット ・見舞品 1セット
- ・タオルケット 4枚 ・ブルーシート 1枚

肝付町内令和元年度訓練等実績

- ・非常炊き出し訓練 2回
- ・肝付町赤十字奉仕団による炊き出し実演 1回



○今後とも日本赤十字社事業へのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

日本赤十字社 肝付町分区（肝付町社会福祉協議会内・68-8188）

赤十字講習会のご案内

県民の皆様が健康で安全な生活をおくっていただくために、日本赤十字社鹿児島県支部では下記講習会を開催しています。これらの講習会で身につけた知識と技術は、非常時や日常生活だけでなくボランティア活動などにも役立ちます。日程及び各種講習の内容につきましては県支部ホームページ（[検索](#)「日本赤十字社鹿児島県支部」[クリック](#) ページ下方「講習会・セミナーに参加したい」）等でご確認ください。

○救急法 ○水上安全法 ○幼児安全法 ○健康生活支援講習 ○海の安全教室

また、10人以上のグループ（受講者）を対象に赤十字講習会指導員派遣をおこなっています。上記ホームページで詳細をご確認の上、派遣希望日の2ヶ月以上前にお問い合わせください。

※新型コロナウイルスの影響で6月以降も中止となる可能性があります。

【講習受付】099-256-2099 【代表電話】099-252-0600 受付時間 平日9:00～17:00

日本赤十字社が赤十字活動へのネット寄付を受け付けています



「日本赤十字社」→「寄付」で検索
詳しくは下記のホームページをご覧ください。

<http://www.jrc.or.jp/contribute/>



肝付町共同募金委員会からお知らせ

肝付町共同募金会では、「じぶんの町をよくする仕組み」のスローガンの元、令和元年度に肝付町内で集められた『赤い羽根共同募金』を福祉または福祉に関する分野で、住みよい地域づくりにつながるような活動を行っている団体やボランティアグループに配分することで肝付町の福祉活動を応援しています。

○令和2年度助成金事業報告○ (令和元年度募金による助成金事業)

令和元年度配分金（総額）	2,784,557 円	
県共募配分	739,000 円	・大規模災害等の助成金・各福祉施設・各福祉団体
団体等配分	592,000 円	・16 団体（下表）
地域配分	1,453,557 円	・安心巡回車事業・ボランティア育成事業・地域福祉事業等

令和2年度 赤い羽根共同募金助成金配分団体

岸良地域支えあい委員会	地域福祉事業	後田地区公民館	夏休み子ども講座
寄って結って会		波野地区公民館	
ケアニンず〜		宮富祭り実行委員会	地域づくり事業
高山小学校	特別支援学級	後田地域づくり協議会	
国見小学校		肝付町老人クラブ連合会	福祉団体育成事業
内之浦小学校		肝付町手をつなぐ育成会	
エコーせせらぎ	ボランティア団体活動事業	富山サロン	高齢者いきいきサロン

新規団体紹介

波野地区公民館 (鹿児島弁かるたとり大会)	地域住民や子どもたちに、楽しみながら鹿児島弁の意味を理解することを目的に作られた団体です。
きしたんかあちゃん グループ	商店のない地域だからこそお互い助け合い、高齢者の方々を支え合っていくための配食活動等を目的に結成されました。

共同募金ネット寄付

「共同募金」→「はネット」→「肝付町」で検索
詳しくは下記のホームページを参照してください。

<https://hanett.akaihan.or.jp/hanett/pub/homeTown?data.jisCd=46492>



赤い羽根共同募金は、地域福祉に取り組むあなたのまちづくりを支援します。

○共同募金助成に関するお問い合わせ先：肝付町共同募金会 事務局（肝付町社会福祉協議会内・68-8188）

**65歳
以上の方へ**

健康づくり個人ボランティア募集中！

～肝付町高齢者元気度アップ・ポイント事業～

肝付町社会福祉協議会では、町の委託を受け「肝付町高齢者元気度アップ・ポイント事業」を実施しています。この事業は、町内の65歳以上のシニア世代の方々が、ご自身の健康づくりや地域での社会貢献活動に取り組むことに対し、地域商品券に交換できるポイントを付与することで、高齢者の健康維持や介護予防、社会参加の促進を図る事業です。

ご自身の健康づくりや社会貢献・地域活動をはじめのきっかけとして、たくさんのご友人と一緒に介護保険制度や介護予防、ボランティア等について学んでみませんか？



町や登録団体が行う健康づくり教室や研修会等への参加
○健康教室 ○介護予防教室
○交通安全教室 ○長寿大学
○ボランティア研修会など



健康増進課の検診など
○複合検診 ○肺がん検診
○女性がん検診
○結核レントゲン検診など
○検診結果報告会



ボランティア活動など
○町や登録団体が行う行事等の支援
○児童・障がい・高齢者等の福祉施設支援
○在宅高齢者支援

◆対象者◆ 町内在住の65歳以上の方（個人）

◆主な活動◆ ◎町等が実施する検診や健康づくり教室等への参加
各種検診・健康教室・介護教室・交通安全教室・研修会等
◎町が指定したボランティア活動

◆ポイント◆ 活動参加1回につき1ポイント（1ポイント100円相当）
ボランティア活動1時間につき1ポイント（1日上限2ポイント）
年間で50ポイント（5,000円相当）まで商品券に交換できます。
（5ポイントから交換）

※ポイントは10ポイントまで翌年度に繰り越すことができます。

※ポイントの付与と交換には、参加登録と介護保険料の滞納が無いことなどの条件があります。

◇問い合わせ◇ 肝付町社会福祉協議会 68-8188（ボランティアセンター）



暮らし安心ネットワーク事業

令和2年度在宅福祉アドバイザーが決まりました

在宅福祉アドバイザーは、民生児童委員からの推薦を受けて地域の中の高齢者の方を中心に声掛けや安否確認などを行い、地域ぐるみで助け合い活動を通して見守り支援を行うボランティアです。民生児童委員や行政・社協など関係団体と連携を図りながら、より安心して住み続けられる地域を目指してネットワーク構築を目指しますので、地域のみなさまのご支援ご協力を宜しくお願い致します。

【高山地区】

	氏 名	振興会名		氏 名	振興会名		氏 名	振興会名
1	和田 タキ子	西 仮 屋	28	立 石 みす子	本 町	55	宮 地 香代子	上 大 脇
2	中 濱 ヒデ子	一 ツ 松	29	柿 園 三枝子	寺 町 ケ 丘	56	大 平 知恵子	旭 が 丘
3	柳井谷 昭 郎	柳 井 谷	30	永 野 美千代	寺 町 ケ 丘	57	中 村 良 子	上之馬場1区
4	中 島 淳 子	波 見 下	31	日 高 とし子	八 幡 馬 場	58	久 保 孝 子	上 之 原
5	坂 口 千津子	荒 瀬	32	大 野 好 子	八 幡 馬 場	59	前 田 京 子	上 之 原
6	東 ヨシ子	平 後 園	33	宮 脇 泰 子	中 町	60	小 川 純 孝	上之馬場2区
7	内之倉 百合江	上 原	34	中 村 晴 代	中 麓	61	野 尻 昭 子	西 が 丘
8	篠 崎 美津子	塚 崎	35	大 窪 春 子	西 麓	62	桐 野 寛 子	西 が 丘
9	有 留 秀 子	花 牟 礼	36	谷 口 徳 子	新 町	63	長 濱 久美子	上之馬場3区
10	山 内 敦 子	花 牟 礼	37	迫 田 優 子	神 之 市	64	永 野 かず子	論 地
11	宮 崎 みどり	津 曲	38	杳 田 正 文	長 珠 庵	65	中 窪 悦 子	論 地
12	内 倉 孝 子	水 窪	39	森 千鶴子	下 永 山	66	皆 元 ゆみ子	岩 崎
13	渡 口 サツ子	池 之 園	40	宮 内 真智子	三 反	67	松 田 ツルエ	岩 崎
14	富 永 かず江	池 之 園	41	川 崎 睦 子	下 住 上	68	柿 園 信 子	宮下川南
15	西 悦 子	下 之 門	42	久木田 良 子	下 住 上	69	梶 優 子	宮下川南
16	釘 田 チナ子	東 横 間	43	福 岡 文 子	下 住 下	70	末 次 すみ子	宮下川北
17	相 星 順 子	東 横 間	44	木佐貫 一 子	下 住 下	71	有 村 サダ子	富 山
18	新 川 真理子	西 横 間	45	椎 木 裕 子	菅 原	72	奥 道 子	富 山
19	今 村 タ マ	東 迫	46	月 精 勝 子	福 留 町	73	松 元 ト キ	谷 山 迫
20	迫 カヤ子	東 迫	47	中 村 星 美	福 留 町	74	戸 柱 百合子	協 和
21	福 沢 カズ子	東 迫	48	別府込 サヨ子	新 生 町	75	松 元 徳 子	白 坂
22	福 元 マサ子	東 迫	49	鳥 越 義 信	西 之 宮	76	新 原 みづえ	後田西山下
23	渡 口 一 枝	東 丸 岡	50	近 藤 津代志	栄 町	77	下 迫 和 子	染 木
24	森 朋 子	西 丸 岡	51	山 下 正 敏	赤 池	78	竹 山 正 子	本 城 上
25	飯 田 孝 子	小 牧	52	中 崎 むつ子	坂 中	79	新 村 ソエ子	本 城 下
26	大 窪 恵	博 労 町	53	大 田 初 美	下 西 方	80	上片野 フミエ	片 野
27	有 留 美保子	本 町	54	市 坪 美和子	上 西 方			

【内之浦地区】

	氏 名	振興会名		氏 名	振興会名		氏 名	振興会名
81	小 串 敏 行	小 串	87	西 森 あつ子	馬 込	93	竹 中 ひとみ	東
82	愛 甲 隆 一	檜 脇	88	田 淵 小百合	乙 田	94	松 元 京 子	本 地
83	井 手 りえ子	天 神	89	牧 谷 弘 子	侍 金	95	中 野 ヒサヨ	上 西
84	有 馬 幸 子	平 牟 田	90	前 田 美穂子	侍 金	96	本 田 千代子	浜
85	福 迫 美恵子	津 房	91	本 橋 仁 子	上 建	97	吉 永 ミツ子	浜
86	宮 後 竜 一	坂 元	92	串 崎 勇	港			

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和2年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入!!

保険金額・年間保険料（1名あたり）

保険金の種類		基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	
	手術 保険金	入院中の手術 65,000円 外来の手術 32,500円	
	通院保険金日額	4,000円	
	地震・噴火・津波による死傷	×	○
賠償責任	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)	
	年間保険料	350円	500円

団体割引20%適用済／過去の損害率による割増引適用

＜基本プランに加入される方へ＞

基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

商品パンフレットは
コチラ
(ふくしの保険ホームページ)



ボランティア行事用保険

送迎サービス補償

福祉サービス総合補償

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

(傷害保険)

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL:03(3349)5137

受付時間：平日の9:00～17:00(土日・祝日、12/31～1/3を除きます。)

損保ジャパン日本興亜は、関係当局の認可等を前提として、2020年4月1日に商号を変更し、「損保ジャパン」になります。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

営業時間：平日の9:30～17:30(12/29～1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(SJNK19-12918 2020.2.10 作成)

※初めてボランティアをされる方は、ボランティア活動保険の関係上、前日以前にボランティア登録及びボランティア活動保険の申し込みをしてください。

令和2年度 社会福祉協議会の会員募集にご協力をお願いします

社会福祉協議会(社協)は、社会福祉法で唯一『地域の福祉』を推進する社会福祉法人と位置づけられており、それを実現するための各種福祉事業や、在宅介護を支える公益性の高い介護サービスを実施しています。



高齢者や障がい者の方々はもちろん、町民のだれもが明るく安心して暮らせる元気な福祉のまちづくりのために、住民・企業・事業所・団体によって組織される団体です。

会員の種類	対象	会費(年額一口)
一般会員	町内各世帯	500円
特別会員	特に社協事業に賛同いただける町内の 保健、医療、福祉団体、企業、事務所、 町内外の個人	1000円
団体会員		
個人会員		

※例年、一般会費は4月に各振興会長・班長さん方のご協力をいただき、各世帯にお願いしております。